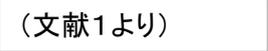


施設名	五厘堤									
所在地	富山県 滑川市									
管理者等	滑川市									
施設種類・分野	河川									
施設概要 (明治期との関連含む)	<p>1895(明治28)年8月の洪水で早月川左岸大浦地区の石堤が破壊され、多くの家屋田畑が流失、被害は惨状を極めた。翌年国庫補助を受けて富山県による復旧工事が行われ、堅固な堤防「五厘堤」が完成した。</p> <p>のり面勾配を5厘として築かれ、大洪水により一部で壊れて修復されたが、ほとんど築堤当時の姿を残した明治期の石堤防であり、現在も滑川市街地を水害から守っている。(文献1より)</p>									
築造時期	明治中期		時期詳細	明治29年						
関連人物	ヨハネス・デ・レーケ									
関連企業	-									
トピックス (特徴的エピソード)	<p>1891(明治24)年7月の豪雨で大水害が起きた翌月、内務省から派遣されてきたヨハネス・デ・レーケは、早月川を調査し、堤防は土砂でできているため漏水しやすく、築造が不十分で強度が不足していることを指摘した。五厘堤はヨハネス・デ・レーケが設計したものであると伝えられているが、確たる証拠はない。当時の富山県の土木担当課長高田雪太郎がデ・レーケの指導により設計したとも考えられるが、推測の域を出ない。(文献1より)</p>									
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産(土木学会)	○	文化財(文化庁)	-	近代化産業遺産(経産省)	-	世界遺産(ユネスコ)	-	
その他 (関連資料、文献)	<p>文献1: 土木学会HP「五厘堤の解説シート」 (http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/454)</p>									
管理者等のHP (URL等)	-									